

事務机 (PSC 番号:AR-02) 製品分類別基準

2004.3.1 AR-02
2003.1.22 制定

注)この基準はエコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No	大項目	中項目	小項目	要求事項
1	PSC 設定 の前提	製品	定義	オフィス用デスクシステムのうちいずれかに該当するもの一式 ・ 両袖机、片袖机(袖の左右は問わない) ・ 平机とワゴン(1台)の組み合わせ
2			範囲	最小販売単位に含まれる本体と機能を果たための付属品類(錠、ペントレー、仕切板)、包装(パレットの場合のように再使用されるものを除く)、取扱説明書
3			ステージ	範囲
4	製品データ シート (LCI 入力 データ)	製品ステージ 情報 (製品情報)	製品材料または 原料構成	<ol style="list-style-type: none"> 1. 普通鋼、ステンレス鋼、アルミニウム、その他金属(銅)、熱可塑、熱硬化(エポキシ)、ゴム(SBR)、ガラス、紙、木質材その他の11項目 (但し、熱可塑性樹脂は材質別にPEIDSシートで計算) 2. 資源投入は製品となった段階の材料重量のみを対象とする。 3. 製品重量の95%以上の材料を種類別に分類、残りは比例配分し100%換算する。 4. オープンリサイクル/リユースを含む場合は次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。なお設定根拠の妥当性は検証の対象となる。 (1) 「間接影響」範囲とする工程 (2) 「間接影響」範囲内の控除・負荷 <p>< 部品等Aとしなくても良い部品 > 錠前、アジャスター、ネジ類、キャスター、引出レール、ストッパー類、樹脂小物、仕切り、引き手等</p>
5		製品ステージ 情報 (製造サイト情報)	投入・消費・排出 される物質と エネルギー -	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電力、A重油、軽油、灯油、ガソリン、LNG(都市ガス)、LPG、都市用水、工業用水、地下水 2. 公共下水排水量、河川等排水量およびBOD、COD、TN、TP濃度(直接、絶対値記入でも可) 3. P R T R対象物質及び各社で重要と思われる物質は記載する。 4. 副産物:無し。 5. 製造工程は、主用機能部品の加工、組立と包装。 6. 複数の生産工場がある場合は代表工場でも可とする。 7. 部品等Aの輸送については海外調達のみ考慮する。
6		物流ステージ 情報	製品の輸送条件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 輸送距離は500kmと設定する。 2. 輸送条件、手段、効率は各社の実績に基づいて記載する。 3. 海外生産を含む場合の海外・国内間の輸送負荷は国内輸送負荷に加算して計上する。手段、標準距離および積載率など海外の輸送条件は各社の実態で設定するが、設定根拠の妥当性は検証の対象となる。
7		使用ステージ 情報	製品の使用条件	使用負荷は計上しない。

No	大項目	中項目	小項目	要求事項
8		廃棄・リサイクルステージ情報	製品の廃棄・リサイクル条件	<p>回収実績(埋立、リサイクル等の配分)に基づき、共通原単位(破碎、埋立)を用いて計算することを原則とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> リユースに関する環境負荷として、洗浄、手直し等リユースプロセスの環境負荷を加算し、リユース部分で代替できるオリジナル部分の製造負荷を控除する。 最終処理までのプロセス確認をせずに土壌排出の定義に従った計上も可能とするが、この場合には上記1, 2の控除は認めない。また廃棄とリサイクルステージの区別が困難のため、廃棄・リサイクルステージに統合する。 回収率は製品90%、段ボール97.1%、品質係数は金属(鉄、アルミ、銅)50%、熱可塑性樹脂は35%で計上する。 原単位は、LCI共通原単位リスト:廃棄、リサイクル分野を使用する。 原材料に再生材を使用している場合は、投入時はバージン材使用とし、再生材分は使用後のリサイクル処理扱いにして計算する。 オープンリサイクル/リユースを含む場合は次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。なお設定根拠の妥当性は検証の対象となる。 <ol style="list-style-type: none"> 「間接影響」範囲とする工程 「間接影響」範囲内の控除・負荷 <p>以上に則り次の項目を取り扱う。</p> <p>負荷: リサイクルに関する環境負荷として、溶融インゴット・ペレット化等リサイクルプロセスの環境負荷を加算</p> <p>控除: 使用済み製品の質量に回収率を乗じた質量で代替できる分のオリジナル素材の製造負荷</p>
9	製品環境情報データシート (PEIDS)	インベントリ分析	LCI計算式	<p>共通原単位の項目に準拠する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 石炭、原油、NG、ウラン鉱石、鉄鉱石、銅鉱石、ホーサイト、ニッケル鉱石、クロム鉱石、マンガング石、CaF₂、石灰石、岩塩、珪砂、水、木材の17項目 CO₂、SO_x、NO_x、N₂O、CH₄、CO、HFC、PFC(大気:8)、BOD、COD、T-P、T-N(水圏:4)、固形廃棄物の、計12項目 オープンリサイクル/リユースを含む場合は間接影響と直接影響に分離して計算し、このうち間接影響分を「リサイクル効果」として表現する。PEIDSでは間接影響の合計を「リサイクル効果」欄に記載し、リサイクル効果の内訳をPEIDSの解説欄に記載する。
10		インパクト評価	カテゴリ追加	<ol style="list-style-type: none"> エネルギー資源の消費、鉱物資源の消費 温暖化、酸性化、オゾン層破壊、富栄養化
11	内訳データシート (製品データシート関連)	データ加工	アロケーション	<p>工程毎のデータを把握するのが基本。配分をする場合には</p> <ol style="list-style-type: none"> 加工、塗装、組立の3工程に分け 全体から対象工程を面積比等で配分し更に 各工程のデータを生産台数を基本に対象製品当たり配分する。(原則 直接製品製造にかかわる部分のみを対象とする)
12		データ収集	収集範囲	<ol style="list-style-type: none"> 対象サイト、工程を収集範囲の原則とする。 立ち上げ時のデータは避け、安定時のデータを収集する。 季節変動のある空調等は年平均として取り扱う。 空調等の固定部分は工程設定時の計画生産量当たりでも可とする。 生産量に比例する加工・加熱用の電力や燃料や廃棄物は生産量当たりで換算する。 新製品等は計画(設計)値でも可とするが、本来の実績が出たら置換する。
13			カットオフルール	塗料、天板表面材には適用しない。

No	大項目	中項目	小項目	要求事項
14	内訳データシート (PEIDS 関連)	データベース	原単位データベースの選定	エコリーフ共通原単位を用いる。
15			原単位データベースへの追加	なし。
16			特性化係数の追加	なし。
17	製品環境情報	製品仕様		<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業面の提供(天板面積) 2. 収納空間の提供(センター引出、ワゴンの引出の数、容積) 3. 配線機構の提供 4. JIS対象製品か否か
18		データ公開内容		<ol style="list-style-type: none"> 1. 使用した原単位、特性化係数データベースのバージョンを明記する。 2. オープンリサイクル/リユースを含む場合は <ul style="list-style-type: none"> ・「リサイクル効果」は実際に発生した負荷とは統合せずに、独立してステージ毎に点線で表示する。 ・リサイクル効果の内訳は欄外に記載する。
19	その他環境関連情報	選択記載項目		ガイドライン規定の基本3項目にグリーン購入法・学校環境衛生関連法規関連の化学物質情報を追加する。